

VMware Horizon Suite

Your Cloud, Your Policy, Your Choice

概要

モバイル ユーザー向けのプラットフォーム、VMware Horizon™ Suite により、IT 部門のセキュリティと管理性を維持したまま、エンド ユーザーは任意のデバイスからデータやアプリケーションに接続できます。IT 部門は、それぞれ分離しているデスクトップ、データ、およびアプリケーション テクノロジーを統合された IT サービスに変革できます。これらのサービスをポリシーベースで管理することで、運用の効率性、セキュリティ、および俊敏性が向上します。オフィス、自宅、外出先など、場所やデバイスを問わずエンド ユーザーに一貫した使用環境を提供することで、ユーザーの生産性が向上します。Horizon Suite は、業界をリードする VMware のデスクトップ仮想化ソリューションと、モバイル ユーザーやユーザーのコラボレーションに対応した新しいテクノロジーで構成されます。

主なメリット

- **簡素化**：複雑な環境でユーザー端末を個別に管理する場合、効率が悪く、大きな負担となります。多様なオペレーティング システム、アプリケーション、データを、あらゆるデバイスに提供できる統合サービスに変換し、容易にプロビジョニングや管理を行い、エンド ユーザーに提供できるようにすることで、運用を効率化および簡素化します。
- **管理とセキュリティ**：エンド ユーザーの資産を統合サービスに変換することで、管理、セキュリティ保護、バックアップ、および更新を中央から実行できます。ポリシー ベースのアクセスと提供により重要なデータが保護され、コンプライアンスが維持されます。
- **柔軟な選択肢の提供**：モバイル ユーザーには、作業内容や状況に応じて適切なデバイスを選択する自由度が必要です。デバイス、時間、場所を問わず、コラボレーションに適した直感的なコンピューティング環境を一貫して提供することで、ユーザーの生産性が向上します。

ワークスタイルの変化に対応

PC の使用が一般的になって 20 年以上になります。PC 時代の初期には、紙、ファイル フォルダ、メモ、書類トレイをデジタル版に置き換えることで効率性が高まりました。PC によって、人々の作業方法が変わりました。

現在、作業者のモバイル化が進み、さまざまな場所で作業を行うようになったため、可搬性とコラボレーションをサポートするテクノロジーが求められています。社内ユーザーは、タブレット PC やスマートフォンのような個人が所有するデバイスを利用するなど、生産性を高めるためにさまざまな方法を試みています。従来、1 台のデスクトップ PC やラップトップ PC で業務を行う必要がありましたが、現在ではタブレット PC やスマートフォンで作業することが可能です。

このような可搬性に優れたデバイスでは、時間や場所を問わずインターネットにアクセスできます。社内ユーザーはこれらのデバイスを利用して、SaaS（サービスとしてのソフトウェア）やモバイルアプリケーションにアクセスします。これにより、新しい効率的な方法による接続、コラボレーション、業務の遂行が可能となります。

ビジネスへの影響

これまでの標準化された PC 中心の IT モデルは時代に適合しているとは言えません。IT 部門は、多様化するデバイス、オペレーティング システム、アプリケーションに対応するだけで精一杯です。またエンド ユーザーは、生産性の向上が可能な利用しやすい IT サービスを求めています。

このような変化によって、IT 部門の責任者や管理者の最重要課題が次のものに移行しています。

- 優れた費用対効果で既存のシステムをサポートし、新しいテクノロジーを採用するための革新を進める
- コストを抑制しながら、エンド ユーザーの生産性向上に必要な多様なデバイスやアプリケーションを提供およびサポートする
- モバイル ユーザーやユーザーのコラボレーションが増加しても、企業データを保護し、コンプライアンスを維持する
- すべてのエンド ユーザー システムのビジネス継続性を確保する

従来のエンド ユーザー テクノロジーはモバイル ユーザーやユーザーのコラボレーションを想定して開発されていないため、IT 部門がこのような新しいビジネス上の課題に対応するには不十分です。現在の PC 中心のモデルでは、主なコンポーネント（オペレーティングシステム、アプリケーション、ユーザー設定とデータ）が互いにリンクし、単一のデバイスに関連付けられています。アーキテクチャが複雑で柔軟性に欠けるため、管理が困難で変化に対応できないうえ、多額のコストがかかります。さらに IT 部門は、予算、コンプライアンス、ビジネス要件を満たしながら、エンド ユーザーの満足度を維持する必要があります。このモデルでは、効率性と効果の低減、高リスク、不十分なサービスの提供という悪循環から IT 部門が抜け出すことは困難です。IT 部門が進化を遂げるには、この問題を断ち切り、効率的に革新と保守に取り組みながら、ビジネスとユーザーのニーズに応える必要があります。

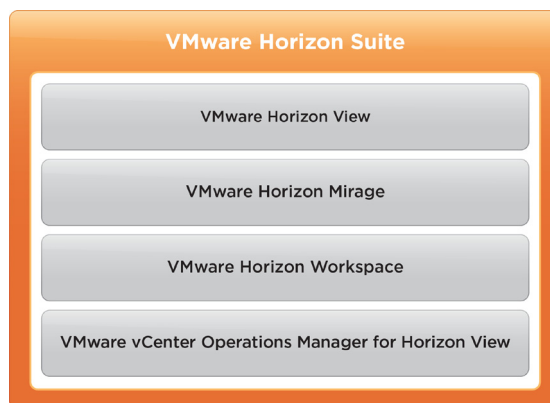
Horizon Suite の仕組み

Horizon Suite によって、IT 部門は従来のテクノロジーにあった問題を解決し、事後対応のサービスから、ビジネスの俊敏性とユーザーの生産性を向上させるサービスの提供にシフトすることができます。IT 部門は、オフィス、自宅、外出先など、場所やデバイスを問わず直感的な使用できる一貫した環境をエンド ユーザーに提供しながら、企業のコンピューティング環境においてセキュリティ、管理性、および継続的なコンプライアンスを確保できます。Horizon Suite では、Identity Access Management (IAM) テクノロジーにより、個々に分かれていたユーザー ID が単一の ID に統合されるため、エンタープライズ ディレクトリを活用したり、エンタープライズポリシーに基づいてアクセスを定義することが可能になります。このため、すべての情報資産のセキュリティ、制御機能が強化され、情報資産に対する責任がより明確になります。管理者はユーザーアクセス ポリシーを制御し、Horizon Suite を既存のワークフローシステムに統合できます。また、ソフトウェア ライセンスの使用状況レポートを通じてアクティビティ全体を追跡し、ライセンスを最適化することが可能になります。ユーザーは使いやすいアプリケーションカタログ、単一の Web ベースのワークスペース、および一度限りのセキュアなログイン機能を通じて、すべてのアプリケーションに必要な応じてアクセスできます。

管理者は、現在 Horizon Suite の一部として提供されている VMware ThinApp® を使用して、仮想化された Windows アプリケーションをパッケージングし、ユーザーに提供することが可能です。その結果エンド ユーザーは、シンプルかつ高速に、セキュアな方法で、これらのすべてのアプリケーションにアクセスできるようになります。

Horizon Suite のコンポーネント

Horizon Suite は、業界をリードする VMware のデスクトップ仮想化ソリューションと、モバイル ユーザーやユーザーのコラボレーションに対応した新しいテクノロジーで構成されます。IT 部門は、これらのテクノロジーを組み合わせ、既存の環境を最適化しながら技術革新や最新のトレンドを実現し、ユーザーの生産性とビジネス環境のセキュリティ保護を維持することができます。



VMware Horizon Suite は、VMware Horizon View、VMware Horizon Workspace、VMware Horizon Mirage、および VMware vCenter Operations for Horizon View を含む包括的なエンド ユーザー コンピューティング ソリューションです。

- VMware Horizon View™ は、デスクトップの管理、セキュリティ、および制御を簡素化すると同時に、デバイスやネットワークの種類を問わず、優れたデスクトップ サービスを提供します。
- VMware Horizon Mirage™ では、IT 部門による物理デスクトップの統合管理が可能になります。また、エンド ユーザーはローカルで処理を実行することができます。
- VMware Horizon Workspace™ は、任意のモバイル デバイスやコンピュータから、アプリケーションやデータへの安全なアクセスを提供します。これにより、エンド ユーザーの使用環境を向上しながら、管理コストを削減できます。
- VMware vCenter™ Operations Manager for Horizon View™ は、包括的な可視化を実現し、仮想デスクトップ インフラストラクチャの健全性、パフォーマンス、および効率性の監視と最適化を可能にします。

詳細情報

詳細については、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.vmware.com/jp/products/horizon-suite>

VMware 製品のご購入、または詳細情報については、次の製品 Web サイトをご覧ください。

www.vmware.com/jp/products

仕様および要件の詳細については、製品のドキュメントを参照してください。

